

## 第69回 活性化プロジェクトチーム議事録

開催日時：平成30年5月9日（水）12：00～14：15

開催場所：神戸市 東急 REI ホテル3F 「ローズ」

出席者：活性化PT：宗田委員長、村松、日浦、吉本、村田、松本 各委員 6名

臨席者：藏本担当副会長、寺岡、原田、岡田 各副会長 4名

事務局：中島、米山 2名

(順不同・敬称略) 計12名

議 題：

1. 暫定措置事業終了後の海運組合の在り方について
2. その他

冒頭、宗田委員長及び藏本担当副会長挨拶の後、資料確認及び本日の議案審議に係る経緯説明がなされた。

審 議

1. 暫定措置事業終了後の組合組織・事業のあり方について

検討事案に先立ち、事務局より共通認識を図るため、「5組合の構成比」及び「全海運・建造納付金（実納付額）抛出比」を資料3・4に基づき説明がなされた。

- (1) 総連合会の正副会長会議における5項目の提案事項の認識

(主な意見)

- ・全海運の中では、正副会長会議の5項目の提案は認識されていない。しかしながら、総連合会では「民間船員育・養成事業」を立上げ、予算化（1、200万円）までされている。
- ・総連合会では、船員事業は暫定後では遅いので暫定終了前に立ち上げる方向である。なお、本事業に関して、共育センターの実績に鑑み藏本副会長に座長の打診がなされている。  
(立ち上げが正式（理事会承認）に進むのであればお引き受けすること。)
- ・正副会長会議の議論は拙速があり、また、5組合に対する説明に丁寧さが欠ける。
- ・藤井会長が総連合会正副会長会議で5項目を承諾しているのなら全海運は組織として反対は出来ない
- ・藤井会長は、5項目に絞り今後議論することに異論を唱えておらず、組織の機関決定（理事会）を得ず記者発表したことで事業者に誤解を与える恐れがあることに異議を述べたものと思っている
- ・検討する内容については概ね理解できるしそれ以外には考えられないと思うが、検討を進めるプロセスに問題がある
- ・正副会長会議の議論が一方的に進捗しており、全海運PTでの検討と噛み合っていない。

- ・中央組織と資金的問題は別として、その他の項目については特に異論ない
- ・今後の内航海運がどうあるべきかを総合的に論じる必要がある

以上の状況の中で

全海運は、3月の理事会において「5項目の提案」のプレス発表は容認出来ないことから、記事の修正を求めたところである。しかしながら、記事の補足説明はあったものの、前記のように更に具体的な事案が一方的に進捗していることから、今後の対応について種々検討の結果、以下のとおり確認した。

正副会長会議において「5項目の提案」の議論を進めることに異論は無い。

しかし、その結論についての事業の継承は新しく作られる中央組織であり、現在の総連合会を想定するものではない。

## (2) 暫定後の組合組織

日浦委員作成の資料に基づき、組合の多重構造、求心力の維持及び望ましい海運組合の組織形態等について説明がなされた。

以下、各委員から提案された組合組織の在り方

### ① 全海運主導の統一組織

- ・全海運を中心としたシンプルな組織構造が望ましい
- ・全海運や地方組織の改革を予想しても具現化は困難。ましてや5組合の統合となれば更にハードルが高い。従って、現体制を活かした組織改革を全海運主導で提案すべき

### ② 全海運独立（多重構造の解消）

- ・事業者の明るい未来をイメージした場合、全海運の独立もありか

### ③ 総連合会を一度解体し立て直す。

### ④ 現状の総連合会をリニューアル（透明性、スリム化、）

- ・5組合統合合併の可能性は？・・・大型の参加は考えられない
- ・国は業界窓口の一本化を求める
- ・今後、組織の事業を考えるにあたり、有事（大不況等）の際のセーフティネットの仕組みが必要（タクシー業界の規制強化を参考）
- ・無駄を省く組織改革が必要
- ・まず優先課題は組織形態について決めることが必要である
- ・小型船事業者の発言力や小回りの利く統一した中央組織が求められる
- ・内航総連合会が自ら改革案を作成し示すべき
- ・内航総連合会の現状の課題は、機関決定のあり方について改善する必要がある

### ⑤ 五組合と総連による再編

- ・内航総連合会は委員会運営の為の事務局業務が中心となっているが、5組合事務局で受ければスリム化も可能ではないか

### ⑥ 五組合からなる集合体(現状維持)

種々検討の結果、

新しい「中央組織（総連以外）は必要」であるとの意見の一致を見た。  
ただし、その構築方法・内容は今後の検討課題とした。

## 2. その他

（活性化PTの検討方針）

「5項目の提案」のうち1、については、「中央組織（総連以外）は必要」としたので、他の4項目について今後検討のこととした。

以 上